

医療被ばくに関する説明書 (CT 検査)

◆ CT 検査について

X線を使用して身体の断面像を撮影し、病気の診断を行う検査です。
検査時間は撮影部位や範囲によって異なりますが、約10分程度となります。
その内、実際に放射線を照射している時間は数十秒です。

◆ 検査の必要性について

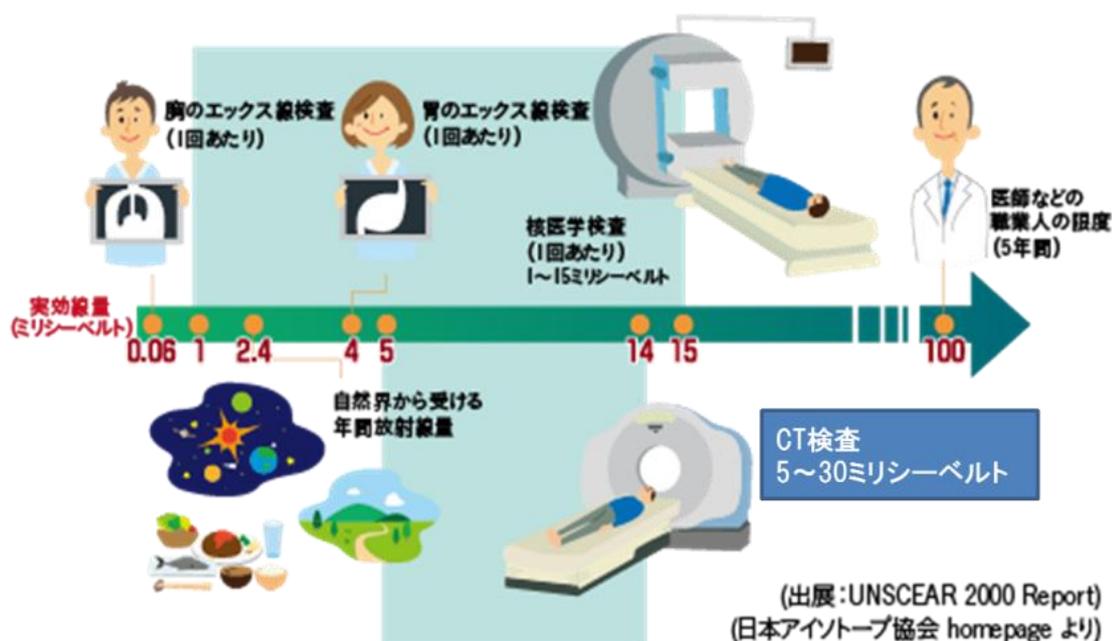
CT検査では放射線を用いるため放射線による被ばくを伴います。
被ばくによる不利益よりも検査によって得られる利益のほうが大きいと判断される場合に実施します。

◆ 線量の最適化について

当院では、関連学会のガイドラインをもとに最適な条件で検査を行い、放射線による被ばくを必要最小限にすることを実践しています。小児においては小児専用の条件を用い、より一層の被ばく低減に努めています。

◆ 放射線の量について

通常のCT検査により受ける放射線の量は5~30ミリシーベルトですが、撮影部位や範囲、方法で異なります。一般的には、検査で受けた放射線の量が100ミリシーベルト未満であれば、放射線検査を受けた人も受けなかった人も発がん率や遺伝的な影響の差はないと言われています。当院のCT検査で100ミリシーベルトを超える被ばくをすることはありません。また、定期的にCT検査をお勧めすることもあります。治療効果や病変の経過を観察することで最善の治療に繋げるためです。複数回のCT検査を受けた場合でも、人体には放射線による影響に対する修復機能がありますので、放射線の影響が蓄積するわけではありません。



一部改変